

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス マイカ		
○保護者評価実施期間	2025年2月1日		2025年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 28
○従業者評価実施期間	2025年2月1日		2025年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者・利用児童に寄り添った、共感的な支援が出来ている。 また、相談支援員や学校などにも密に連携を取り利用児童について共有が出来ている	利用児童の状態をしっかりと観察し、支援内容にフィードバックをするようにしている。児童発達支援管理責任者に支援内容を確認しながら、丁寧な支援を行っている	利用児童にとっての最善を常に考えながら、児童発達支援管理責任者の指導のもと、よりよい支援が行えるように朝礼や終礼の時間を使い職員間で連携を進めていく
2	利用児童が安心をしながら、楽しく通えている	日々の活動が固定化しないよう、職員で日替わりで役割を決めて活動を組んでいる。また、楽しいことから学ぶことをモットーにしているので、職員が常に利用児童に対し肯定的に捉えて評価をしている	安全計画をもとに、研修や訓練の内容をより充実させ職員個人のスキルアップを図る。定期的に職員に面談の機会を設けて会社の理念や考えを伝達しチームとしての支援力を向上させる
3	発達に合わせてプログラムの取り組みを行い、オーダーメイドの療育を行っている	同じ活動でも、発達に合わせてアプローチを変えている。利用児童が自信を持って何事にもチャレンジが出来るよう、意欲的に参加が出来る様に、職員同士で話し合い事前の準備を行っている	利用児童の発達に応じて作成された支援計画を各職員が読み理解を深める、朝礼や終礼時に支援方法を具体的に共有する

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会や、保護者同士の交流の機会が少ない	感染症の流行などを考えると、リスクを感じる	近隣の感染症の状況などを観察し、一度に集まる人数や場所を細かく設定をし、慎重に規格を考えていく
2	事故対応や災害対応などの緊急時のマニュアルは整っており、訓練も都度実施をしているが、保護者への情報が伝わりにくい状況になっている	保護者の方へ、必要な情報発信を行う必要がある	個別に説明をさせていただく以外にも、ホームページやブログを通して情報発信を行っていく